卒業生保護者の皆さんからメッセージ

高校卒業おめでとう。
自分で考え決断し乗り越えてきた日々には、先生や友だち、周りのたくさんの人に支えてもらい、その一つひとつがあなたを強く優しくしてくれましたね。
支えてくれた人への感謝を胸にこれからも自分を信じ楽しんでください。
母より

卒業おめでとう。
高校生活は楽しかったですか?
この先、もっと楽しいことをみつけ、楽しんでください。
辛いことがあったら、家に帰っておいで。待っているよ。
母より

数学・化学・物理、毎日授業を頑張ったね。先生方の工夫を凝らした指導を受けて無事に卒業できること、嬉しくもあり、これから違う世界へと羽ばたいて行ってしまうことは寂しくも思います。一斉にまたこれからスタートです。青峰高校での時間を忘れず、良い人生へ向かって走り抜けてください。応援しています。
両親より

卒業おめでとうございます。勉強、部活(吹奏楽部)も部長として大変だったと思うけどよくがんばったね。演奏している姿もステキでした。
これから楽しいことも大変なこともすべてが大切な経験になると思います。
家族はいつでも心から応援しています!
母より

卒業おめでとう。この3年間いろいろな事があって大きく成長しましたね。辛い事もあったけどよく頑張ったなと思います。卒業してからもいろいろな事に挑戦して自分らしく頑張ってくださいね。
ずっと応援しています。
母より

卒業おめでとう!いろいろな方に支えられ、成長する事ができました。思いやりと感謝の気持ちを忘れずに、夢に向かって頑張ってね!応援しています。
母より

卒業、おめでとう。3年間共に学んできた友人、一緒に苦楽を共にしてきた部活動の仲間たち、一生懸命指導してきてくれた先生方とのかけがえのない日々や思い出は一生の宝物です。感謝することを忘れずに、夢の実現のため、一歩ずつ未来へ向かって歩んでくれることを祈っています。自ら思い描く未来は、自分でしか叶えられることはできません。頑張ってください。
母より

卒業おめでとう。あっという間の三年間でしたね。
春から離れて暮らす寂しさはありますが、新しい世界へ飛び込んでいくあなたを応援しています。壁にぶつかった時は、離れていても変わらず応援している家族を思い出してください。
身体に気をつけて、自分らしく、伸びやかに羽ばたいてね。
両親より

陽太へ
卒業おめでとう。部活と勉強を両立し最後までやり切った姿は立派でした。3年生最後の中信総体での陽太のたくましい姿は、本当に感動しました。
多くの経験を通して、積み重ねてきた努力はこれからの人生できっと自信になります。今後の挑戦も応援しています。
母より

自分で進路を決めて、未来に向かって踏み出していくことを頼もしく感じています。自由にいろんなことをやってみてください。(父)
4月から初めての一人暮らしが始まるね。生活に慣れるまでは大変だけど、お友達や先輩、先生に聞いて頼らせてもらってもらってやっていくんだよ。いつも応援しているし味方です。高校卒業おめでとう。(母)
父・母より

高校卒業おめでとう。この3年間、目標に向かって日々努力をしていた姿を見てきました。子どもの頃から何事にも全力で取り組むあなた。家族と住む家を離れこれから夢に向かって進む時、真っすぐ全力で進むことができず、悩み迷う時もあるはず。でもそんな時は頼ってください。両親・弟・家族みんなを。みんなあなたの味方で相談相手です。だから大丈夫、夢に向かって突き進んでください。みんな応援しているからね。
母より

卒業おめでとう
巣立ちの時となりました
自分の選択が未来を作ります
責任ある行動ができる大人になってください
心身共に健康であることを願っています

陽斗へ、これから初めて家を出て1人で生活し、外の世界へ出ていくことが楽しみでもあり不安もあると思うけれど、これからも自分の良さを活かして自分だけのとっておきのものを見つけられるよう願っています。
困ったらいつでもまた頼ってください。母はいつまでもあなたの母です。
卒業おめでとう!
母より

周りの人の支えがあったからこそ、今の自分があることを忘れないで。
これからの人生も全力で学び、全力で楽しんでください。
卒業おめでとう。
父と母より

高校卒業おめでとう。
これまでの努力と成長を、心から誇りに思います。
これから新しい環境の中で、さまざまな出会いや経験が待っているでしょう。
失敗を恐れず、自分の可能性を信じて進んでください。
あなたの歩む道が、希望に満ちたものとなることを願っています。
父より

卒業おめでとう。
入学当初、期待や不安がたくさんあったかもしれないけれど、木曽青峰高校で色々な経験をして、自分の将来を決める準備ができた3年間だったと思います。
自分で決めた道へ進んでいく悠佳を誇りに思います。
大学生生活も楽しんでね!
母より

卒業おめでとう。
高校生活の中で大変な事などたくさんあったかと思いますが、弱音も吐かず前向きな姿勢で乗り越え、人として大きくなった事、実感しています。
これからの人生もあなたらしく不屈の闘志で歩んでいってください。
父・母より

飛翔へ　卒業おめでとう!こうしてお祝いできるもの生まれてきてくれたからですね。大きくなる姿を見れて父ちゃん母ちゃんはとても幸せです。さあこれからますますなんでもチャレンジできるステージだと思います。人生で失敗というものは無いのだそうですよ。ひとつ失敗といえるのは、やりたかったことをやらなかったこと。やってみてうまくいかなかったなーとなったら、それはうまくいかない方法が分かったってこと。すべて上手くいくステップなんだね。周りの方々への感謝を忘れずに。何があっても父ちゃん母ちゃんは飛翔の応援団です。やりたいことを愉しんで味わって生きていってください。
卒業生の皆さんへ
卒業おめでとうございます。素敵な皆さんに囲まれて親子3年間楽しい時間を過ごすことができました。本当にありがとう。皆さんのそれぞれのご活躍をいつも応援しています。
父ちゃん・母ちゃん

ついこの間、高校入学したと思ったらもう卒業。色々あった3年間だったと思うけど、1つ大きなカベを乗り越えられたんじゃないかな?と思っています。まだまだこれから色々なカベにぶつかると思うけど、あきらめず自分をしっかり持って悩んだら1人で悩まず相談できるような仲間に出会ってほしいです。色々あった3年間だけどよく頑張ったと思います。これからも頑張って!!
母より

今までの慣れ親しんだ環境から1つ広い世界での高校生活はどんな3年間でしたか?高校生活で得たことをこれからの人生の糧として更に広い新しい世界に進んでください。
母より

今まで岩にぶつかりながら、うねったり、緩やかな流れの中、長い川を下流まで進んできましたね。これから更に下流へ、そして大海へ行く事でしょう。ゆっくりでもいい、あなたの将来の形や居場所を描いていってください。
父より

編集後記

あっという間の1年だった!長かったと思う1年だった!と同じ1年間でもいろいろあったと思います。
生徒の皆さんはたくさんの思い出が作れたと思います!
今年もクラスマッチ、蒼陵祭等での写真撮影、提供をして頂き『大地の樹』を発行することができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

文化副委員長　小割　ちえみ

編集担当　文化委員会
委員長　野溝　幸雄(1年4組)
副委員長　小割ちえみ(1年3組)
大畑　智里(2年2組)　横井　宏美(3年2組)
池田貴代美(3年3組)　吉本　麻美(3年4組)
定時制教頭　登内　将志　教諭　菊池　大輔

発行:長野県木曽青峰高等学校PTA　印刷:山田印刷株式会社
第41号
発行日:令和8年3月1日

木曽青峰高等学校PTA会報

大地の樹

Daichinoki

CONTENTS

表紙:秋季クラスマッチ
2P:御挨拶
2~3P:修学旅行特集
4~7P:卒業特集
8P:保護者の皆さんからメッセージ
編集後記

PTA会長
森田　哲徳

ごあいさつ

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にも心よりお祝を申し上げます。校長先生をはじめ諸先生方におかれましては、子供たちの成長に合わせ、温かく見守りながらご指導いただきましたこと、まことに感謝を申し上げます。

高校での3年間は長い人生の中で見れば、ごくごくひと握りの時間ではありますが、今までの自分を振り返りながら、これから進む道を少しずつでも形としていく大切な時間だと思います。その中で、真剣に勉強や部活動に取り組んだこと。また、友人や様々な方と人間関係を育めたことは、何よりもの宝物ではないでしょうか。

卒業生の皆さんは、これから新しい生活のスタートになります。今後、道に迷うこともあるでしょう、理不尽だと叫びたい時もあると思います。しかし皆さんには両親や友人、恩師、地域の方々など大勢の味方がいます。そしてこれからも味方の輪は膨らみ続けていきます。自分が信じた道を歩んでいくことを願っています。

校　長
依田　健

御嶽海と阿部知事

PTA会員の皆様には、今年度も本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

さて、今年度も本校には様々なお客様がお越しになりましたが、その中でお二人について振り返ってみたいと思います。

先ずは木曽青峰高校の2期生の御嶽海関です。6月26日に4人の付き人と颯爽と現れ、全校生徒の待つ体育館へ。「これだけ多くの高校生を前にするのは初めて。」と喜んでいる姿と、本校の廊下に掲示されている新聞のご自身の優勝、大関昇進時の記事にジッと目を留めていた姿が印象に残っています。激励会で全校を挙げての応援が届いたのか、直後の7月の名古屋場所では10勝しました。厳しい勝負の世界で闘っている御嶽海関に、これからも熱い声援を送りたいと思います。

また7月7日には阿部知事がお越しになり、「木曽谷・伊那谷フォレストバレー」の一環として、木曽青峰高校、林業大学校、上松技術専門校の3校の生徒と意見交換会が開催されました。本校からは森林環境科とインテリア科の4名の生徒が参加し、堂々とした発言が好評をいただきました。知事は本校や「全国募集」を応援してくださいました。

1年間を通して感じることは、木曽青峰高校は多くの皆様から注目を浴びていて、応援されているということです。人口減、生徒数減などの切実な問題もありますが、より魅力的な木曽青峰高校となることを今後も目指していきます。皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

2025 修学旅行の思い出

1組

2組

3組

4組

定時制

卒業おめでとう

卒業学年の担任の先生方、保護者の方から
卒業生の皆さんへのメッセージを集めました

Message

選択する力、そして生き抜く力

3年1組　担任
小野　浩介

卒業おめでとう。このPTA会報を読む頃は、入試結果が気になりながらも最後の入試に向けて勉学に励んでいる生徒も多いことでしょう。3年生の諸君は、志望校や企業を決める際に周囲から多くのアドバイスを聞いた上で、自分自身で後悔しない選択ができたと思います。つまり、一歩踏み出すための**『選択する力』**を3年間で身につけることができました。これからも幾度となく選択する場面が訪れます。選択する力を今後もさらに磨いて発揮してください。

選択する力は社会を生き抜くための力の一つだと私は考えます。生き抜くためには、一人ではできないことも多く、時には周囲の力を借りることも必要です。これから出会う人たちの中には、あなたをサポートしてくれる人もいれば、騙そうとする人などいろいろな人がいます。人に対しては、「見極める・頼る・敬う」こと、自分の姿勢としては、「謙虚さ・貪欲さ・丁寧さ」を忘れないで前に進んでください。これが**『生き抜く力』**だと私は考えます。

さあ、自分らしく大きく羽ばたいて社会を生き抜いてください。陰ながら応援しています。

Message

担任として感じたこと

3年2組　担任
田中　健

本校の生徒は、とても純粋で真面目で思いやりがある子たちばかりで感心しています。気持ちの良い挨拶ができ、学校行事には積極的で、配布物を渡せば必ず「ありがとうございます」って言って受け取る。木曽の学校の伝統がそういった子どもへと成長させているのだろうと考えます。私のクラスで一番印象に残ったのが、蒼陵祭で生徒が活躍している姿です。係やクラブの仕事はもちろんのこと、クラスの模擬店の仕事も積極的に関わり、お客様のために決して手を抜かない雰囲気は圧巻でした。そして、一般公開終了を迎え最後の一品が売れた時、クラスの皆がそのお客様に笑顔と拍手でお見送りをしていたのを目の当たりにし、大きな成長を感じました。いよいよ木曽の地から巣立つときがやってきましたが、無事にこの日を迎えられるのも保護者の皆様の支えがあってのことです。今まで私たちを信頼しご協力いただき心より御礼申し上げます。この生徒たちが再び木曽の地に帰り、社会を支えていく日が来ることを期待します。

Message

卒業生へ

3年3組 担任
太田 安奈

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。高校生活は楽しかったですか?楽しかった人もそうでなかった人もいると思います。少しでも、楽しかったと思える瞬間があればうれしく思います。私はこの学年の『楽しいこと』担当と自負しています。私は楽しいことが好きです。クラスマッチ、文化祭、修学旅行、学年企画いろんなことをやってきました。どうやったらみんなが楽しく、同時に自分自身が楽しめるかを考えてきました。教員という仕事を始めて学んだことがあります。『面倒なことを楽しむ』ということです。これから先、いろんな困難や面倒なこと、嫌なことがあると思います。何もしなければ、逃げてしまえば楽です。
でもそこからは何も生まれません。行動した方がきっと楽しいです。やらなければならないことなら、楽しんだ方がいい。どうやったら楽しくできるかは人それぞれです。それを考え実行していくことが成長することであり、楽しむということだと思っています。みんなのこれからが最高に楽しい人生であることを願っています。

Message

卒業生へ

3年4組 担任
山下 祐也

ご卒業おめでとうございます。皆さんは、高校生活を通して、様々なことを学んだかと思われます。楽しいことばかりではなかったかもしれません。進路の悩み・部活動での葛藤・行事でのぶつかり合い。しかし、それら一つひとつの経験が皆さんを成長させてくれたと思います。

4月から働く人、進学を経て働く人とそれぞれですが、どちらにしても「働くこと」の意義が分かる社会人になることを期待しています。元気や勇気を与え心を支える仕事、モノを作り生活を支える仕事など職種は多種多様ですが、それらのすべてが社会に貢献しています。自分の仕事に誇りやこだわりを持てるよう、社会に貢献できるよう、青峰高校で培った力をさらに伸ばし、これからもずっと学び続けて欲しいと思います。

共に学び、共に成長できた3年間でした。ありがとう。

Message

ペンは剣よりも強し

定時制4学年 担任
前野 春樹

定時制課程の3名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。いきなり私事で恐縮ですが、私自身もかつてはこの学び舎を巣立った同窓生の一人です。みなさんと唯一違いがあるとすれば、当時はこの学校を悔し涙で去ったことです。その後、一年間の浪人生活を経て、英語の教員を目指すべく希望の進路を実現することができました。

振り返ってみると、高校時代に学んだことはその後の人生で様々な形で役立つことがあります。校章の中にあるペンのデザインは学問・知識・知性を表し、教育・文化を象徴しています。卒業にあたり、私はみなさん一人ひとりに三色のペンを携えて社会に歩み出してほしいと伝えました。銀のペンはものづくりに必要な道具です。金のペンは食料を得るために重要な役割を果たします。そして、黒のペンは社会を支える君たち自身の知性そのものです。

卒業生のみなさんの前途に幸多からんことをまほらの丘で心から祈っています。